

## JCA 競技規則 (2021.11 版) 改正の解説

(公社) 日本カーリング協会 競技委員会・審判部

2021.11

以下の文章で、緑色の取り消し線で示された部分は改正版から削除されるもの、赤色の下線で示された部分は改正版に追加されるものを表す。

### WCF ルール Oct. 2021 での変更を受けた改正

#### <R16. ミックスダブルスカーリング>

(JCA 競技規則 32 ページ)

- (f) ...アイスコンディションに基づいて、決定することができる大会審判がないとき、試合前練習に先駆け、それぞれのシートにつき、チーム同士がポジション A の位置を決定~~し~~する。~~。~~  
~~。~~試合中はその位置をキープ~~す~~しなければならない。

以前の WCF ルール上の文言では、ポジション A の位置を試合中に変えられる、と理解される場合があったためルールを明確化した。ルールの意味するところは従来と変わらない。

(33 ページ)

- (h) エンド開始時のストーンが誤った位置に置かれた場合、  
(i) 1 投目を投球した直後に気が付いた場合、そのエンドをやり直す。  
(ii) 2 投目を投球した後で気が付いた場合、誤りがなかったものとして試合を続行する。

(以降の項を繰り下げ)

ミックスダブルスでエンド開始時のストーンの置き間違いに関する規定が追加された。また項の繰り下げにより、R14(b)が参照している項の番号も変更されている。

#### <C8. ストーンの割り当て/ラストストーンドロ>

(49 ページ)

- (d) 各プレイヤーの LSD 回数と、時計回りおよび反時計回りの投球回数は、...

考慮に入れる ラウンドロビン 試合数	考慮に入れる LSD の回数	各プレイヤーの最低限
<u>3</u>	<u>6</u>	<u>1 投</u> <u>チームで必要となる計 4 投のうち、</u> <u>時計回り 2 投、反時計回り 2 投</u>
⋮	⋮	⋮
<u>13</u>	<u>26</u>	<u>6 投、最低時計回り 3 投 + 最低反時計回り 3 投</u>

世界選手権など、予選での試合数が従来規定していた 4~12 試合に収まらない箇所の投球数を追加。

(50 ページ)

- (g) JCA の選手権大会で、複数のラウンドロビンをプレーする場合、~~プレーオフ~~予選以降の試合についてはもし同じグループからのチームの場合は C8(f)が適用され、...

従来プレーオフ出場チームの決定について書かれていた規定が、現状では降格に該当するチームの決定にも使われていることから、それを明文化した。

(51 ページ)

- (h) JCA の選手権大会で、チームが 2 グループに分かれラウンドロビンをプレーし、6 チームがプレーオフに進む場合(各グループより 3 チーム)、プレーオフの試合でのストーンの色ならびに 1 エンド目での先攻後攻は以下のように決定される。

- (i) ...。1 位のチームがもう一方の 1 位のチームと対戦する場合、DSC の短いチームが試合前練習の前後、あるいはストーンの色を選択し、通常の LSD 手順(最低投球回数の制限はなし)により 1 エンド目の先攻後攻を決定する。
- (ii) ...。2 位のチームがもう一方の 2 位のチームと対戦する場合、DSC の短いチームが試合前練習の前後、あるいはストーンの色を選択し、通常の LSD 手順(最低投球回数の制限はなし)により 1 エンド目の先攻後攻を決定する。
- (iii) 3 位のチームがもう一方の 3 位のチームと対戦する場合、DSC の短いチームが試合前練習の前後、あるいはストーンの色を選択し、通常の LSD 手順(最低投球回数の制限はなし)により 1 エンド目の先攻後攻を決定する。

従来異なるグループの同順位チーム間に与えられていたストーンのみの選択権に、試合前練習の前後の選択権が追加された。

< C9.順位決めの手順 >

(52~53 ページ)

- (b) 予選のラウンドロビンが終了した時点で、以下の条件(並んだ順に)によって(グループ内での)チームの順位決めをする。...

- (c) チームが異なるグループで戦い、グループ内での順位を元にラウンドロビン後の試合への上場にかかる順位を決定する場合、順位は全てのグループの同位チームの DSC を比較して決定され、DSC が最もよいチームが最上位となる。

(以降の項を繰り下げ)

複数のラウンドロビングループがある場合の、(繰り下げられた項)C9(c)(v)で規定されたプレーオフに出場できなかったチームに対する順位付けのルールが、プレーオフ出場チーム/降格を決定す

るチームの決定にも使用されており、これを追認した。また、これにより(b)がグループ内での順位決定方法である旨を明文化した。また項の繰り下げにより、C9(d)(i),(ii)が参照している項の番号も変更されている。

(e)(ii) 最終順位を決定するラウンドロビン後の試合が、両チームとも出場ができずに行なえない場合、両チームの順位はともに(その試合で得ることのできる)上の順位となる。順位が昇格/降格にかかる位置にある場合、両チームの順位はともに上の順位となるが、昇格/降格は、ラウンドロビン終了時にどちらのチームが上位だったかによって決定される。

(以降の項を繰り下げ)

コロナの影響等でプレーオフに両チームとも試合に出場できない場合の順位決定方法を規定した。